

教科名	家庭	科目名	家庭基礎 (2単位)
使用教科書	未来をつくる 新高校家庭基礎 (大修館書店)	副教材等	未来をつくる 新高校家庭基礎学習ノート (大修館書店) ニューライブラリー家庭科 (実教)

### 1 科目のねらい (目標)

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

### 2 科目・授業の内容と進め方

#### 1 人の一生と家族・家庭及び福祉

生活は、毎日毎日繰り返される小さな営みですが、その小さな営みのなかで起こる変化や問題によって、人生は小さく、ときに大きく変わっていくものです。高校生が高校生という時期に、将来の自分を想像しながら生活について学び、自分なりの生活観を確立し、人生のさまざまなできごとを力強く乗り越えていこうとする力を養います。

#### 2 生活の自立及び消費と環境

男女共同参画社会の一員として男女が協力して家庭を築くこと、ノーマライゼーションの意識をもって世代や国籍、障がいの有無を超えて共生すること、地球に生きる者として環境に配慮した生活を営むことなど、生活者として自立や共生ができる能力を身に付けます。

#### 3 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ

学習していることと生活とが結びついていることが実感できると、学びがさらに充実し、実習や実験、体験的な学習を通してこそ、生活の課題を積極的に改善・充実できる知識や技術が身に付いていきます。教科書に収録された小さな課題に挑戦し、問題解決能力を養い、その力を家庭で、学校で、地域で、社会で発揮しようとする力を身に付けます。

### 3 学習の方法

- ・理論や演習が主となる座学での学習に、実習や体験学習を取り入れ20人での分割授業や40人でのチーム・ティーチング形式の授業で学習します。
- ・授業のポイントは学習ノートに整理し、記入状況を毎時間確認します。
- ・ワークプリントや実習作品の成果、提出期限、実習に取り組む態度や製作過程、仲間とのチームワークなども大切な学習課題です。

### 4 課題・補習について

- ・学習ノートやプリントの点検を毎時間行います。
- ・実習については、作品の成果だけでなく、実習中の態度も大切です。

情報処理科 2年A組

教科名	家庭	科目名	家庭基礎(2単位)
-----	----	-----	-----------

5 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	第1章 人の一生と青年期の 課題をみつめよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ライフステージの特徴と発達課題について理解する。</li> <li>青年期における自立について考えを持つ。</li> </ul>	授業態度 学習ノート 提出物
5	第2章 家族・家庭と社会につ いて考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の役割について知り、家事労働と職業労働につ いて理解する。</li> <li>家族に関係する法律とその変遷を知る。</li> </ul>	
6	第8章 健康で快適な衣生活 をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>被服の機能を考えた適切な着こなしやマナーにつ いて学習する。</li> <li>基礎縫いを組み込んだ被服製作をする。</li> <li>衣料品の各種表示や購入の注意点を知る。</li> </ul>	実技テスト (授業時間 内)
	第10章 持続可能な社会をめ ざして行動しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の少ない生活のあり方を考える。</li> <li>持続可能な社会を実現するために必要な法律や制度 について理解する。</li> </ul>	
7	第11章 生活をデザインしよ う	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の夢や希望を実現させるためには、どのような 準備が必要か考える。</li> <li>ホームプロジェクトや学校家庭クラブの意義と進め 方が理解できる。</li> </ul>	前期中間考 査
8	第7章 生涯の健康を見通し た食生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の食生活の実態を把握し、課題と対策を 考える。</li> <li>栄養素とそれを多く含む食品に関する基本的な知識 を学習する。</li> <li>自分や家族の日常的な食事の献立作成や調理法、食 材の選択を工夫する。</li> <li>和洋中華の調理に関する基本的知識と技術を身に付 ける。</li> <li>食品の調理性を理解し、実習を通じて、日常の食生 活に応用する技術と実践力を身に付ける。</li> </ul>	
9	第6章 経済生活を設計しよ う	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭経済の仕組みを知り、経済設計の必要性を知る。</li> </ul>	
10	第3章 子どもと子育てにつ いて知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子ど もの育つ環境について理解する。</li> <li>子どもの発達のために親や家族及び地域社会の果た す役割について学習する。</li> </ul>	前期期末考 査
11	第4章 高齢者の生活と福祉 について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢社会での自立した生き方やそれを支える家族や 社会のあり方を学習する。</li> </ul>	
12	第5章 共生社会をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフサイクルにそった社会福祉制度の仕組みや、 ボランティア活動の必要性を理解する。</li> </ul>	後期中間考 査
1	第9章 安全で快適な住生活 をつくろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候風土と住まいの関係について知る。</li> <li>ライフステージと住空間について学び、住まい方の 工夫が分かる。</li> </ul>	
2	学習のまとめと評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年間の学習を振り返る。</li> </ul>	学年末考査